学校番号	１２０６

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱα	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新高校の数学Ⅱ　（数研出版）						
副教材等	新　高校の数学Ⅱ対応　教科書学習ノート　数学Ⅱ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ⅰ・数学Ａで学習した知識をもとに数学Ⅱの前半部分を学習します。授業内では発展的な内容も扱いますので何度も反復して練習することが大切になってきます。また、答えに至る考え方をグループワーク等で共有する時間を取り入れ、思考力・表現力を向上させていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学における概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的な解釈、表現・処理する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
数学を活用して事象を論理的に考察する力や数学的な表現により事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する態度等を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念、原理・法則などの知識を体系的に理解できる。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な思考力や判断力が身に付いている。	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	複素数と方程式	・式の展開と因数分解 ・分数式の計算 ・複素数 ・解と係数の関係 ・因数定理	a:式の展開や分数式の計算ができる。 b:複素数の仕組みがわかり、解と係数の関係や因数定理が理解できる。 c:自ら進んで問題を解き、学んだ知識を活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 問題集 提出	出席状況 観察
	図形と方程式	・直線上の点 ・平面上の点 ・直線の方程式 ・2直線の関係	a:線分の長さや点の座標を計算で求めることができる。 b:条件を理解し、直線の方程式を求めることができる。 c:　自ら進んで問題を解き、学んだ知識を活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 問題集 提出	出席状況 観察
後期	図形と方程式	・円の方程式	a:条件から円の方程式を求めることができる。 b:円の方程式の成り立ちを理解し方程式からグラフをかくことができる。 c:　自ら進んで問題を解き、学んだ知識を活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 問題集 提出	出席状況 観察
	三角関数	・一般角 ・三角関数の性質 ・三角関数の相互関係 ・三角関数のグラフ	a:一般角の変換、グラフの判別ができる。 b:一般角の性質を理解し、三角関数の値を求めることができる。 c:　自ら進んで問題を解き、学んだ知識を活用しようとしている。	授業 プリント	問題集 提出	出席状況 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度